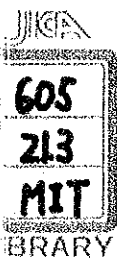


コスタ・リカ共和国  
中米域内産業技術育成計画協力事業  
計画打合せ調査団報告書

1993年 3月

国際協力事業団



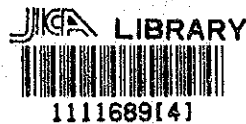
鉾 開 技

J R

93 - 8



コスタ・リカ共和国  
中米域内産業技術育成計画協力事業  
計画打合せ調査団報告書



1993年 3月

国際協力事業団

国際協力事業団

26010

## 序 文

コスタ・リカ共和国政府は経済自立促進、経済基盤強化および産業発展と民生の向上の両立を目指し、1985年から始まった第6次経済社会開発5ヶ年計画の中で、既存産業の効率と生産の向上、労働力の技術向上、雇用機会の増大を図り、科学技術の進行を積極的に促進することに力を注いでいる。

その一環としてコスタ・リカ共和国政府は、中米域内の産業技術者育成に資するために、教育省の傘下に「中米域内産業技術育成センター」を設立することを計画し、我が国にプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1990年3月に第1次事前調査団を派遣し、要請の背景、計画の妥当性、協力の規模等を調査し、その後協力内容の詳細を詰めるための長期調査員の派遣、さらに、1990年11月に第2次事前調査団の派遣を経て、1992年4月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions）の署名を行なった。

本件プロジェクトは、同討議議事録に基づき、1992年9月1日から5年間にわたり技術協力を実施中である。

プロジェクト開始後、約7ヶ月を経過した現時点において、JICAはプロジェクトの進捗状況の確認および今後のプロジェクト運営についてコスタ・リカ共和国側関係者と協議を行い、年次計画（Annual Work Plan）を策定することを主な目的として、1993年3月8日から3月19日まで計画打合せ調査団を派遣した。

本報告書は同調査団の調査結果をとりまとめたものである。

ここに本調査団の派遣に関し、ご協力いただいた日・コ両国の関係各位に対し深甚の謝意を表するとともに、あわせて今後のご支援をお願いする次第である。

1993年 3月

国際協力協力事業団

鉱工業開発協力部長

内 仲 康 夫





協議議事録署名

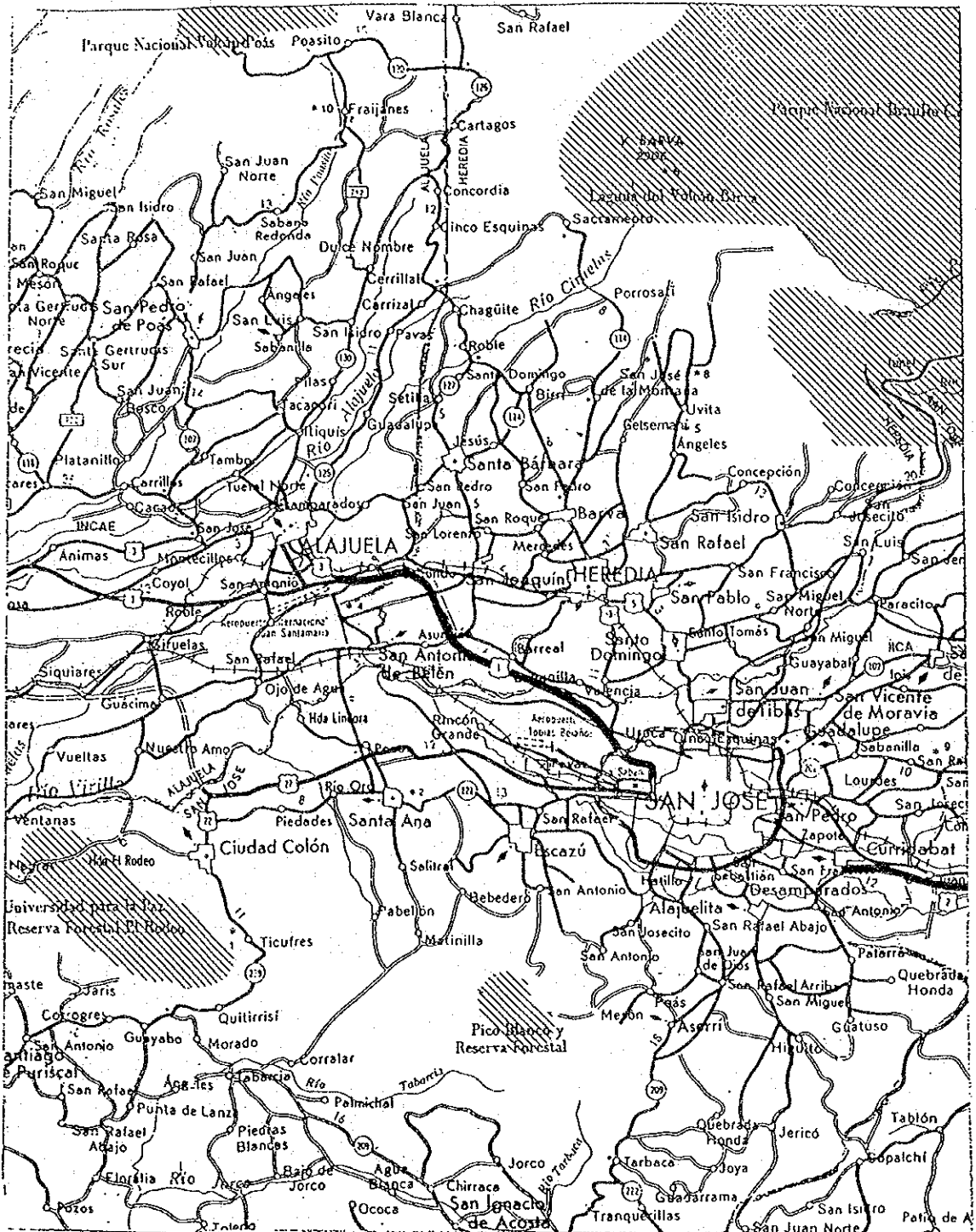


調査団員及びセンター関係者



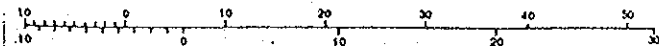


# プロジェクト位置図



ESCALA SCALE  
1:670.000

KILOMETROS



MILLAS TERRESTRES

1 cm = 6.700 Metros

1 in = 10.6 Miles

Lambert's Conformal Conic Projection  
Proyección Cónica Conformante de Lambert



# 目 次

序 文  
写 真  
地 図  
目 次

1. 調査結果の要約	1
2. 計画打合せ調査団派遣	1
2-1 調査団派遣の経緯と目的	1
2-2 調査団の構成	1
2-3 調査日程	2
2-4 主要面談者リスト	3
3. 暫定実施計画（T. S. I.）の進捗状況と次年度計画	4
3-1 日本側	
(1) 専門家派遣	4
(2) 研修員の受入れ	4
(3) 機材供与	4
3-2 コスタ・リカ側	
(1) 建物施設等プロジェクト・サイト基盤整備状況	5
(2) 機材措置および維持管理状況	5
(3) 組織、カウンターパートおよびスタッフの配置	5
(4) ローカルコスト負担	5
4. 技術協力計画（T. C. P.）の進捗状況と次年度計画	6
4-1 情報処理分野	6
4-2 生産・品質管理分野	6
5. プロジェクト運営上の問題点	6
5-1 検査用機器	6
5-2 カウンターパート	6
6. 調査団所見	7
7. 先方側との主な協議事項	7
附属資料	9



## 1. 調査結果の要約

1992年9月のプロジェクト協力開始後、現在までの7ヶ月間に、長期派遣専門家6人および短期派遣専門家1人の計7人を派遣し、6人の研修員を受け入れた。

専門家派遣および研修員受け入れについては現在までのところ、当初計画どおり進展している。

また、機材供与に関しては現在までに図書館システム、教材開発用機器等の機材を中心にC. I. F. で約42,629千円分を購送した。

一方、コスタ・リカ側の本プロジェクトに対する予算額は1992年16.6万コロン、1993年103.7万コロンであり、本プロジェクトの配置職員数は1993年は29名の配置となっている。

技術移転状況は、コース開設の準備中であり、専門家指導による訓練コースの教材開発を行っている。今後は、生徒募集に向け、募集方法、募集要領の作成及びPR方法を順次策定する必要がある。

## 2. 計画打合せ調査団派遣

### 2-1 調査団派遣の経緯と目的

「コスタ・リカ共和国中米域内産業技術育成計画」に対するプロジェクト方式技術協力要請は、1989年7月にコスタ・リカ共和国政府から日本国政府に対して正式要請された。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1990年3月に第1次事前調査団を派遣し、要請の背景、計画の妥当性、協力の規模等を調査し、その後協力内容の詳細を詰めるための長期調査員の派遣、さらに、1990年11月に第2次事前調査団の派遣を経て、1992年4月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions）の署名を行なった。

本件プロジェクトは、同討議議事録に基づき、1992年9月1日から5年間にわたる技術協力が開始され、1993年3月現在、長期、短期あわせて7人の専門家が派遣され技術協力中である。

プロジェクト開始後、約7ヶ月を経過した現時点において、JICAはプロジェクトの進捗状況の確認および今後のプロジェクト運営についてコスタ・リカ側関係者と協議を行い、年次計画（Annual Work Plan）を策定することを主な目的として、1993年3月8日から3月19日まで計画打合せ調査団を派遣した。

### 2-2 調査団の構成

担当分野	氏名	現職
団長	内仲康夫	国際協力事業団 鉱工業開発協力部 部長
技術協力計画	小沼宏治	外務省経済協力局技術協力課 事務官
機材計画	受川正男	通商産業省 通商産業検査所

研修計画 安達 道 (財)日本生産性本部

運営管理 三好省三 国際協力事業団 鉦工業開発協力部  
鉦工業開発協力課

### 2-3 調査日程

派遣期間 1993年3月8日 ～ 3月19日 ( 12日間)

日 程	調 査 内 容
3月 8日 (月)	移 動
3月 9日 (火)	移 動
3月10日 (水)	日本国大使館・マカカ 外務省・教育省・経済企画省表敬
3月11日 (木)	プロジェクトとの協議
3月12日 (金)	合同委員会 開催
3月13日 (土)	資料整理
3月14日 (日)	資料整理
3月15日 (月)	議事録作成
3月16日 (火)	議事録署名、大使館報告
3月17日 (水)	移 動
3月18日 (木)	移 動
3月19日 (金)	移 動

2-4 主要面談者リスト

(コスタ・リカ側)

- |         |                        |  |
|---------|------------------------|--|
| ① 外務省   | 次 官<br>国際協力次長<br>国際協力局 | Hernan Castro H.<br>Walter Fonseca<br>Melbu Porras de Ramirez  |
| ② 経済企画省 | 次 官                    | Jose R. Brenes Vega  |
| ③ 公共教育省 | 大 臣<br>次 官             | Marvin Herrera Araya<br>Ronald Leiton Ocario                   |
| ④ センター  | センター長<br>教務部長<br>管理部長  | Luis Armando Ugalde<br>Marco A. Castro<br>Gerardo Antonio Soto |

(日 本 側)

- |                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| ① 在コスタ・リカ日本国大使館 | 臨時代理大使<br>二等書記官<br>職 員  | 望 月 忠 義<br>石 井 豊 美<br>鮎 川 紀 之                                     |
| ② 青年海外協力隊       | 業 務 調 整 員   | 高 嶋 俊 政   |
| ③ プロジェクト        | チーフアドバイザー<br>業 務 調 整 員<br>品質・生産管理<br>品質・生産管理<br>情 報 処 理<br>情 報 処 理<br>情 報 処 理 | 高 木 量<br>松 本 征 吾<br>佐 藤 和 親<br>和 田 巖<br>石 井 信 行<br>鈴 木 讓<br>松 村 巨 |

### 3. 暫定実施計画（T. S. I.）の進捗状況と次年度計画

#### 3-1 日本側

1992年9月1日に当プロジェクト方式技術協力事業が開始されてから本計画打合せ調査団派遣迄にほぼ7ヶ月が経過し、この間に派遣された専門家の派遣分野と人数については別添ミニッツに示される通りである。

各協力分野の活動状況及び1993年度年次計画は以下の通りである。

##### (1) 専門家派遣

1992年度は1992年10月にチーフアドバイザー、業務調整員、生産・品質管理（工業一般）、情報処理（データベース）の4名、同年11月に情報処理（システム分析・設計）1名、12月に情報処理（オペレーティングシステム）の合計6名の長期専門家を派遣し、1993年1月に生産性向上概論の短期専門家1名を派遣した。

また1993年3月に生産・品質管理（繊維・アパレル）及び生産・品質管理（食品）の合計2名の長期専門家を派遣する予定である。

1993年度は、生産性向上教材作成2名、検査機器取扱指導3名、情報処理2名及び機器据付・調整2名の合計9名の短期専門家を派遣する予定である。

##### (2) 研修員の受け入れ

1992年度は1992年9月に生産・品質管理2名、情報処理2名の合計4名を3.5ヶ月受け入れ、1993年2月に幹部研修2名を2週間受け入れた。1993年度は、検査機器3名、生産性向上1名及び情報処理1名の合計5名の研修員を受入れする予定である。

##### (3) 機材供与

1992年度は、第一便の業務用車両は1993年2月に到着しており、第二便の図書館システム他は現在輸送中であり、到着次第引き渡しを行う予定である。

1993年度は、コスタ・リカ側から下記に示す機材の供与が要請された。

1993年度要望機材リスト	数量	優先順位
NO. 機材名	1 式	A
① 教材開発用機器	1 式	A
② 教材作成システムA	1 式	A
③ 教材作成システムA	1 式	A
④ データバックアップ用機器・AV教材教育用機器	1 式	A
⑤ 記憶拡張キット、メモリ	1 式	A
⑥ トレーニングマニュアル	1 式	B
⑦ 検査機器用備品	1 式	A



### 3-2 コスタリカ側

#### (1) 建物施設等プロジェクト・サイト基盤整備状況

建物施設等の基盤整備については、1993年3月中旬に内装設備及び外装工事が完了し、3月下旬に仮事務所から移転する予定であり、特に問題点がないことを確認した。

#### (2) 機材措置・機材維持管理状況

機材の管理をコンピュータによってデータ・ベース化し、管理する旨、説明した。今後はプロジェクトにおいて対処する旨、報告があった。

#### (3) 組織、カウンターパートおよびスタッフの配置

組織図と人員配置状況はミニッツに示されるとおりである。

#### (4) ローカルコスト負担

1992年度及び1993年度予算措置状況は、ミニッツに示されるとおりである。

#### (5) 研修コース

1993年度実施計画

##### (1) 情報処理コース

- ① コース紹介セミナー
- ② パイロットコース
- ③ ジュニアプログラマーコース

##### (2) 生産・品質管理コース

- ① コース紹介セミナー
- ② パイロットコース
- ③ TQCコース

#### (6) センター開所式

センター開所式を別添ミニッツのとおり、1993年4月16日に予定している旨、説明があった。

#### 4. 技術協力計画（T. C. P.）の進捗状況と次年度計画

調査結果の要約にも記載した通り、本プロジェクトは現在まで順調に推移してきている。現在までの進捗状況と次年度計画を協力分野毎に列記すれば以下の通りである。

##### 4-1 情報処理分野

（進捗状況）

- ①現地情報処理ユーザーの実体把握及びセンターに対する要望などを理解するために企業を訪問調査した。
- ②実地訓練を兼ねて、コンピュータシステムの導入作業により、ネットワークの結線、OS及び各ソフトウェアなどの各導入・操作・運用に関する技術移転のベースとなる基本的な技術・知識を習得させることができた。

（次年度計画）

- ①コンピュータ導入及び検収方法などの技術移転
- ②開所式デモンストレーション及びマルチメディア技術移転
- ③ジュニア・プログラマーコースの教材開発
- ④コース紹介セミナー及びパイロットコース開催への指導及び支援

##### 4-2 生産・品質管理分野

（進捗状況）

- ①企業の研修に対する要望などを理解するために企業を訪問調査した。
- ②生産・品質管理のカリキュラム作成及び教材開発の技術移転を行った。

（次年度計画）

- ①TQCコース及び特設コース（生産性向上、QC手法、QCC、5S、提案制度及び安全管理）の教材開発
- ②上記コースの専門家による講義要領の指導による技術移転
- ③工場現場での問題解決方法実習
- ④コース紹介セミナー及びパイロットコース開催への指導及び支援
- ⑤検査機器実習による技術移転

#### 5. プロジェクト運営上の問題点

##### 5-1 検査用機器

検査用機器の活用について、現地のコスタ・リカ大学及び職業訓練所の協力を仰ぎ、維持管理及び十分な活用方法を今後諮問委員会を含め、検討する必要がある。具体的には専門家派遣、カウンターパート受入れについて協力期間中において可能な限り対応することが今後の技術協力で重要と考えられる。

##### 5-2 カウンターパート

一部のカウンターパートの英語の能力は、予想以上に低くミニッツにもこの点の改善を申し入れておいたものの技術移転の方法等、対応策を講ずる必要がある。

## 6. 調査団所見

### 6-1 技術移転計画

1994年1月の研修コース開設までのスケジュールにおいて、コスタ・リカ側に対して期限を設定して計画的に準備を行うよう要請したが、日本側の協力可能な範囲で技術広報のためのパンフレット等の作成指導及び協力が必要である。

### 6-2 研修生の確保

コスタ・リカ企業の訪問結果によると企業が従業員を研修に派遣できる最長期間は2週間ということであったが、今後、企業に過度の負担を与えない研修コースの組み方について更に検討していく必要がある。

### 6-3 周辺諸国の研修生受入れ

さらにコスタ・リカ側は早期に周辺諸国からの研修生を受入れる意向を示したので、当方よりまずコスタ・リカ人対象の研修で基礎固めをすべきである旨、述べておいた。

今後も本件はコスタ・リカ側より提案されることが予想されるがプロジェクト方式技術協力期間中の「第3国研修」開始の可否等について事前に検討しておく必要がある。(R/Dミニッツにあるパナマ、ベリーズを対象国に加える点について、コスタ・リカ側より再度確認を求めたので、当方よりは本件は日本側が承諾可否を述べる問題ではなく、コスタ・リカ側の決定としてテークノートしておく旨、述べておいた。

### 6-4 プロジェクト協力機関

産業技術育成センターのため、コスタ・リカ側政府機関、特に通産省にも全面的な協力体制に積極的に参加を促し、幅広い分野からの支援体制を整備する必要がある。(かかる観点から合同委員会のメンバーにコスタ・リカ「通産省」を加えることを検討するよう申し入れた)

### 6-5 財団化

コスタ・リカ側より民間の協力を得て将来的にはCEFOFを財団化するアイデアが示されたが、当プロジェクトのサステナビリティの観点から本アイデアをフォローしていく必要がある。

## 7. 先方側との主な協議事項

コスタ・リカ側との協議結果の主な点は日・コ双方によって署名された別添ミニッツに集約されているが、ここに先方との協議の概要を振り返って述べてみると下記の通りである。

### ①カウンターパート及びスタッフの配置

日本側は、カウンターパート及びスタッフの配置がR/Dの配置計画より遅れており、早期に決定するよう申し入れた。

これに対し、コスタ・リカ側は、現在仮事務所のスペースが手狭のため、配置できなく3月末の引っ越しが完了した時点から順次採用し、技術移転に支障ない旨、説明した。

## ②予算措置

1992年度予算措置である公用車の購入が遅れており、早期に処理するよう申し入れた。  
これに対し、コスタ・リカ側は早期に手続きする旨、約束した。

## ③専門家派遣

日本側は、専門家派遣のリクルート及び派遣計画を策定する旨、報告を行った。  
これに対し、コスタ・リカ側は、派遣に支障ないよう所定の手続きを行う旨、約束した。

## ④研修員受入れ

日本側は、研修員受入れ計画を策定する旨、報告を行った。  
これに対し、コスタ・リカ側は、1992年度の日本における研修の効果を評価し、引き続き同レベルの内容で受入れを行ってほしい旨、要望した。

## ⑤日本側供与機材

コスタ・リカ側は、技術移転に関連し、日本側に機材の供与を要請した。  
日本側は、コスタ・リカ側の要望にすべて応えることは、日本側の予算の範囲内では困難であるので、コスタ・リカ側の優先順位を考慮しつつ機材供与リストを検討する旨、説明した。  
コスタ・リカ側は、日本側にコスタ・リカ側の要請を十分考慮するよう希望した。

# 付 属 資 料



THE MINUTES OF DISCUSSIONS  
BETWEEN THE JAPANESE CONSULTATION TEAM  
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF COSTA RICA  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR THE TECHNICAL INSTRUCTOR AND PERSONNEL TRAINING CENTER  
FOR INDUSTRIAL DEVELOPMENT OF CENTRAL AMERICA IN THE REPUBLIC OF COSTA RICA

The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yasuo Uchinaka, Managing Director, Mining & Industrial Development Cooperation Department, JICA, visited the Republic of Costa Rica from March 10 to March 16, 1993 for the purpose of reviewing the activities of the Project on the Technical Instructor and Personnel Training Center for Industrial Development of Central America in the Republic of Costa Rica (hereinafter referred to as "the Project") and working out the annual work plan for the period from April, 1993 to March, 1994 for further promotion of the Project.

During their stay in the Republic of Costa Rica, the Team exchanged views and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Republic of Costa Rica over the matters concerning the successful implementation of the Project.

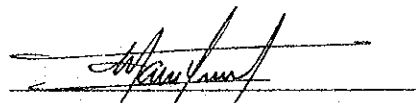
As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

Done in duplicate in English and Spanish, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

San Jose, March 16, 1993



Mr. Yasuo Uchinaka  
Leader,  
Consultation Team  
Japan International  
Cooperation Agency,  
Japan



Mr. Marvin Herrera Araya  
Minister of Public Education,  
Republic of Costa Rica

The ATTACHED DOCUMENT

I. GENERAL REVIEW

The Project started on September 1, 1992 as a five-year project, and is now in the implementation stage of the development of the teaching materials in the fields of

- (1) Production Management and Quality Management
- (2) Data Processing

in accordance with the R/D, the Tentative Schedule of Implementation and the Minutes of Meeting on April 13, 1992 agreed upon by both sides.

Regarding the Project activities in Fiscal 1992, JICA has dispatched 6 long-term experts and 1 short-term expert and has accepted 6 counterpart personnel for training in Japan.

In addition, JICA has provided the machinery and equipment necessary for the implementation of the technology transfer in the activities of the Project.

The technical Instructor and Personnel Training Center for Industrial Development of Central America (hereinafter referred to as "the Center") has ensured the budgetary allocation and the number of Costa Rican counterpart personnel required for the smooth implementation of the Project.

These activities taken by both sides have been regarded as steady progress of the Project.

Thus, based on the common recognition of the present situation of the Project as stated above, both sides confirmed the continuous cooperation between the Japanese and Costa Rican governments for further progress of the Project.

II. REVIEW OF TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION IN JAPANESE FISCAL YEAR OF 1992 (from September, 1992 to March, 1993)

II-1 The Japanese side

- (1) Dispatch of Experts

(4)

*[Handwritten signature]*



(a) Long-term experts

Four experts were dispatched in October, 1992: a Chief Advisor, a Coordinator, one expert in production management and quality management (industry in general), and another in data processing (database). Also, one expert in data processing (system analysis and design) was dispatched to Costa Rica in November, and one expert in Data Processing (Operating System) was dispatched to Costa Rica in December. Two experts in production management and quality management (textile and apparel industry, food processing industry) are scheduled to be dispatched to Costa Rica in March, 1993.

Chief Advisor Ryo Takagi October 29, 1992 to October 28, 1994

Coordinator Seigo Matsumoto October 29, 1992 to October 28, 1994

Production management and quality management

(industry in general) Kazuchika Sato October 29, 1992 to October 28, 1994

Data processing (database)

Nobuyuki Ishii October 29, 1992 to October 28, 1994

(systems analysis and design)

Minoru Suzuki November 12, 1992 to November 11, 1994

(operating system)

Wataru Matsumura December 3, 1992 to December 2, 1994

Scheduled to be dispatched : 2 experts

Production management and quality management

(textile and apparel industry) Yasuto Hayashi March 25, 1993 to March 24, 1995

(food processing industry) Kousuke Ozaki March 25, 1993 to March 24, 1995

(b) One expert was dispatched as a short-term expert in January, 1992.

Implementation of Production Management and Quality Management

(introductory productivity improvement)

Iwao Wada January 29, 1993 to April 28, 1993

(2) Acceptance of counterpart personnel as training participants

Four Costa Rican counterpart personnel (two in production management and quality management and two in data processing) were trained for 3.5 months since September, 1992 in Japan, and also, two in management for 2 weeks since February 1993.

Production Management and Quality Management

Gilbert Ramirez September 8, 1992 to December 24, 1992

Rafael Quesada September 8, 1992 to December 24, 1992

Data Processing (Data Base)

Jorge Ulate September 8, 1992 to December 24, 1992

Mauricio Garcia September 8, 1992 to December 24, 1992

Management

Luis A. Ugalde February 7, 1993 to February 20, 1993

Gerardo A. Soto February 7, 1993 to February 20, 1993

(3) Provision of machinery and equipment

In accordance with the Attached Document II-2 of the R/D, the first shipment of machinery and equipment, and a vehicle for the Center's use, arrived in Costa Rica in February, 1993. The second shipment, library systems and other items, will be delivered to the Center upon its arrival.

II-2 The Costa Rican side

(1) Organization and Staff Allocation of the Center

The Costa Rican side has allocated the staff as shown in Annex 1 and 2.

(2) Allocation of Budget of the Center

The tentative schedule of budget allocation of the Center is shown in Annex 3.

(3) Arrangement of Facilities

Interior and exterior work on the Center was completed on March 15, 1993.

III. TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION IN JAPANESE OF FISCAL YEAR 1993

(from April 1, 1993 to March 31, 1994 )

According to the present state of the Project, both sides agreed to modify TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION which had been formulated on September 1, 1992 as shown in Annex 5 and both sides will take the following activities:

III-1 The Japanese side

(1) Dispatch of 9 short-term experts

1) 1 expert in developing educational materials for productivity improvement (production management by computer)

from the beginning of July, 1993 to October 20, 1993

2) 1 expert in developing educational materials for productivity improvement (practical methods of production management)

3) 1 expert in handling inspection instruments (industry in general)

- 4) 1 expert in handling inspection instruments (textile)
- 5) 1 expert in handling inspection instruments (food)
- 6) 1 expert in data processing (advanced graphics, multimedia application)  
from 2 April, 1993 to 30 April, 1993
- 7) 1 expert in data processing (advanced application technology for PCs)
- 8) 1 expert in installation and adjustment of machinery and equipment
- 9) 1 expert (to be decided)
- (2) Acceptance of counterpart personnel as training participants
  - 1) 1 participant in inspection instruments (textile)  
from the beginning of January, 1994 to the end of March, 1994
  - 2) 1 participant in inspection instruments (food)  
from the beginning of January, 1994 to the end of March, 1994
  - 3) 1 participant in inspection instruments (industry in general)  
from the beginning of January, 1994 to the end of March, 1994
  - 4) 1 participant in productivity Improvement  
about 3 weeks.
  - 5) 1 participant in data processing (personal computer, operating system)  
from the beginning of October, 1993 to the end of March, 1994

### III-2 The Costa Rican side

#### (1) Organization and Staff Allocation of the Center

The organization chart and staff allocation of the Center are as shown in Annex 1 and 2.

#### (2) Allocation of Budget for the Center

The tentative schedule of budget allocation of the Center is shown in Annex 3.

#### (3) Opening of Training Courses

Training courses for various levels of achievement in productivity technology improvement and data processing skills are scheduled to begin in January, 1994.

#### (4) Submission of application forms

(a) A-1 form for dispatch of following 9 short-term experts to reach Japan by the end of April, 1993.

- 1) 1 expert in developing educational materials for productivity improvement (production management by computer)
- 2) 1 expert in developing educational materials for productivity improvement (practical methods for production management)
- 3) 1 expert in Training in handling inspection instruments (industry in general)
- 4) 1 expert in Training in handling inspection instruments (textile)

(9)

*[Handwritten signature]*

- 5) 1 expert in Training in handling inspection instruments (food)
- 6) 1 expert in Data processing (advanced graphics, multimedia application)
- 7) 1 expert in Data processing (advanced application technology for PCs)
- 8) 1 expert in Installation and adjustment of machinery and equipment
- 9) 1 expert (to be decided)

(b) A-2 and A-3 forms for acceptance of following 5 counterpart personnel as training participants to reach Japan by the end of May, 1994.

- 1) 1 participant in inspection instruments (textile)
- 2) 1 participant in inspection instruments (food)
- 3) 1 participant in inspection instruments (industry in general)
- 4) 1 participant in productivity improvement
- 5) 1 participant in data processing (personal computer, operating system)

(c) A-4 form for provision of machinery and equipment to reach Japan by the end of April, 1993.

#### IV. Technical Cooperation Program

##### IV-1 TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

The Team and the Costa Rican side have jointly formulated the TECHNICAL COOPERATION PROGRAM for the period as given in Annexes 5-1~5-4, according to the present state of the progress and other conditions of the Project.

##### IV-2 Training Courses

Courses are now being prepared for opening, and the Japanese experts are developing curricula and texts with counterpart personnel.

The Team explained the example of prospectus for trainees as shown in Annex 6 to the Costa Rican side.

The Costa Rican side said it would make a schedule for recruiting trainees and a list of qualifications of applicants, and would arrange for publicity.

The Costa Rican side also said that by the end of May, 1993 they would prepare the detailed design of the training courses, which are scheduled to open in January, 1994.

The Team requested positive publicity concerning the Center's activities among private industries, and other organizations in order to succeed in acquiring high-caliber trainees, and also requested that excellent trainees be selected and that measures be taken to lighten the financial burdens placed on

trainees. The Costa Rican side promised to assure the recruiting of excellent trainees from a broad range of industrial circles.

The Costa Rican side said, according to the survey on Costa Rican industry by both Costa Rican counterparts and Japanese experts, that desirable period for which Costa Rican industry could afford to send their employees to the training courses at CEFOF would be 2 weeks each time.

#### V. Other matters discussed

##### V-1 Allocation of counterpart personnel and staff

The Team requested the Costa Rican side to expedite the allocation of counterpart personnel and staff since it is behind the schedule in the minutes of R/D.

The Costa Rican side explained its plan as shown in Annex 2 and assured that technology transfer would not be interrupted.

The Team also indicated that the English ability of some of the counterpart personnel is not enough for the smooth transfer of technology, and asked the Costa Rican side to improve the English ability of the above Costa Rican counterpart personnel.

The Costa Rican side promised to improve the English ability of counterpart personnel in the near future.

##### V-2 Allocation of budget

The Team pointed out that the purchase of an official car, which was in the previous year's budget, had not yet been completed, and requested the Costa Rican side to finish it as soon as possible.

The Costa Rican side promised to take necessary actions so that it could obtain the car soon.

##### V-3 Dispatch of experts

The Team reported that the experts to be dispatched would be recruited, and would prepare a dispatch schedule for the Japanese fiscal year, 1993.

The Costa Rican side promised to follow the designated procedures for the smooth reception of experts.

##### V-4 Acceptance of counterpart personnel

The Team reported that a schedule would be planned to accept the counterpart personnel mentioned above.

(90)

*Handwritten signature*

The Costa Rican side highly evaluated the results of training in Japan last year, and requested that the Japanese side continue to accept them, and that training be provided them with the same level of achievement as that of last year.

#### V-5 Provision of machinery and equipment

The Costa Rican side requested the Team to provide machinery and equipment related to technology transfer as listed below.

The Team explained to the Costa Rican side that it was difficult for the Japanese side to accept all the requests because of the Japanese budgetary constraints. The Team requested the Costa Rican side to give priority in the list of the machinery and equipment as shown in Annex 7.

The Costa Rican side hoped the Japanese side would give full considerations to their request.

#### V-6 Opening Ceremony

The Costa Rican side explained that the Opening Ceremony of the Center would take place on April 16, 1993 as shown in Annex 8.

Also, the Costa Rican side requested Japanese cooperation for the publicity of the Ceremony and also requested that representatives of the Japanese side attend the Ceremony.

The Team replied that JICA would be represented at the Ceremony, and that the Japanese side would cooperate in publicity activities.

#### VI. Joint committee

The Joint Committee Meeting was held on the morning of March 12, 1993 to review the progress of the project and examine the Annual Plan for the year 1993. Both sides agreed upon the matters presented and discussed. The attendants of the Meeting and the Joint Committee Meeting Program are shown in Annexes 9-1, 9-2 respectively.

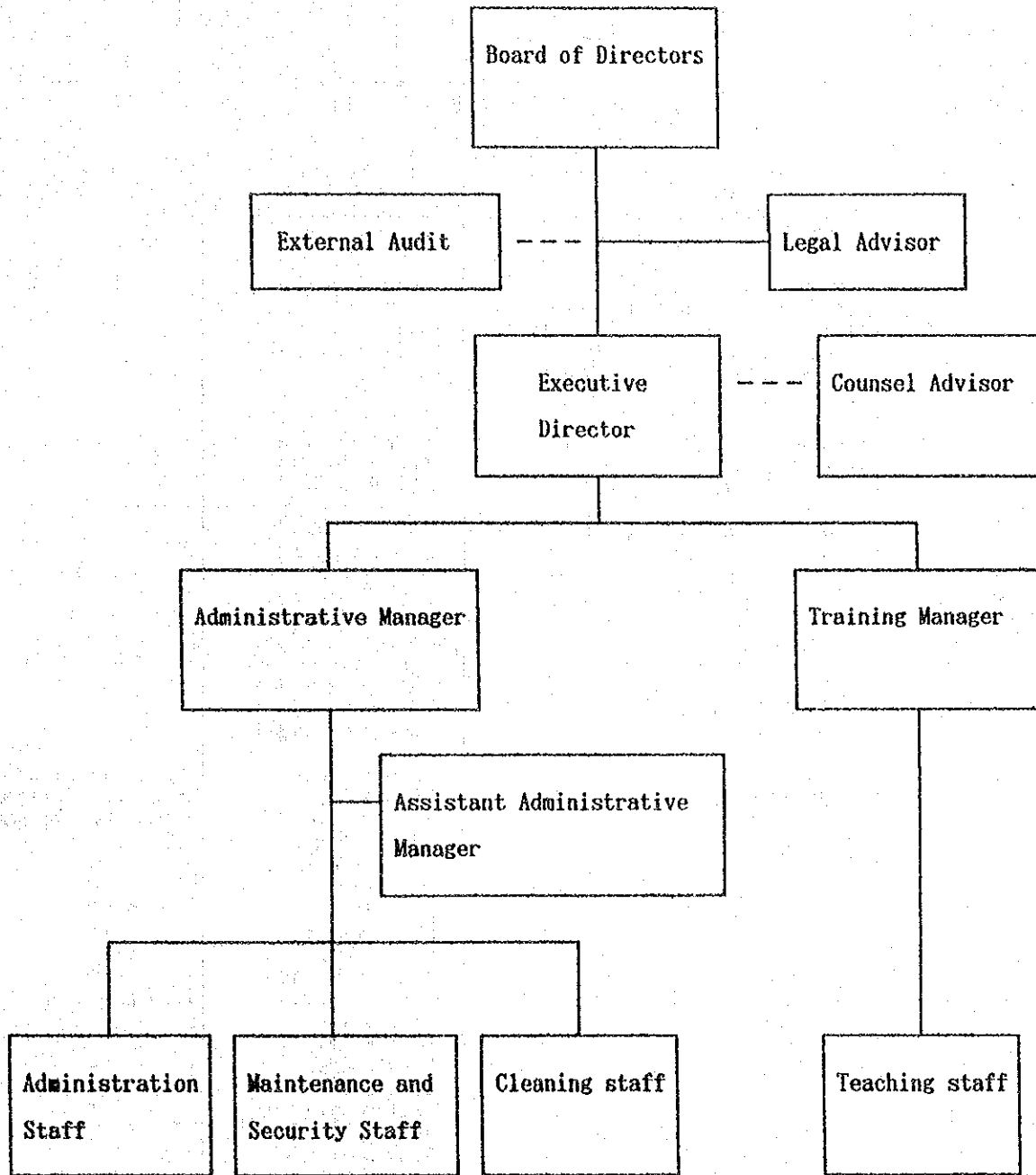
#### VII. The list of participants in the meeting

The list of participants in the meeting are shown in Annex 10.

*epw*

*MSB*

Annex-1. ORGANIZATION CHART AND STAFF ALLOCATION OF THE CENTER



*CP*

*AS*

Annex-2. TENTATIVE SCHEDULE OF STAFF ALLOCATION

The Center Staff	Year	1992	1993	1994	1995	1996	1997	Total
Executive Director		1	1	1	1	1	1	1
Administrative Staff		5	10	10	10	10	10	10
Maintenance Staff		0	3	3	3	3	3	3
Cleaning Staff and other Services		6	17	17	17	17	17	17
Teaching Staff		9	33	33	33	33	33	33
Total of all Staff		21	64	64	64	64	64	64

List of the Center staff

The Center staff	Position	Name	Remarks
Director (1)	Executive Director (1)	Luis A. Ugalde	Chief Advisor C/P
Administrative Staff : 7 of 10 hired	Administrative Manager (1) Assistant Administrative Manager (1) Financial Supervisor (1) Procurement Supervisor (1) General Affairs Supervisor (1) Secretary (2)  Personnel Supervisor (0 of 1) Trainees Controller (0 of 1) Accounting Supervisor (0 of 1)	Gerardo Soto Walter Conejo Anabelle Soto Marco A. Madrigal Luis Diego Arroyo Ileana Cartin Elizabeth Murillo not yet decided not yet decided not yet decided	Coordinator C/P
Maintenance Staff: (1 of 3 hired)	Management Engineer (0 of 2) Computer Management Engineer (1)	2 not yet decided Heiner Mayorga	
Cleaning Staff and other Services: (3 of 17 hired)	Miscellaneous Duties (2 of 6)  Reception (1) Security Guard (0 of 6) Gardener (0 of 2) Driver (0 of 2)	Luis E. Hernandez Douglas Bolanoz 4 not yet decided Mauren Umana 6 not yet decided 2 not yet decided 2 not yet decided	
Teaching Staff : (17 of 33 hired)	Training Manager (1) Production Management Quality Management Training (8 of 9 hired)  Data Processing Training : (5 of 6 hired)  Assistants for practical exercise: (2 of 9 hired)  Secretary: (1 of 2) Clerk: (1 of 2) PR: (0 of 1) Librarian: (0 of 1) Development of educational materials: (0 of 1) Research and Planning: (0 of 1)	Marco A. Castro Olman Muñoz Luis E. González Gilbert Ramirez Rafael A. Quesada Betty Araya Hazel Rojas Glen E. Montes Ricardo Umaña 1 not yet decided Mauricio Garcia Jorge Ulate Nuria Alfaro Marcelo Meza Arllette Jimenez 1 not yet decided Juan Carlos Alvarez Gerardo González 7 not yet decided  not yet decided not yet decided not yet decided not yet decided	Chief Advisor C/P Production Management & Quality Management C/P // // // // // // Data processing C/P // // // //

92



## Annex-3 TENTATIVE SCHEDULE OF BUDGET ALLOCATION

( Unit:Million Colons )

	Year						Total
	1992	1993	1994	1995	1996	1997	
The Center Staff							
Staff Charges	10.0	45.9	63.0	69.0	74.0	81.0	342.9
Building Reformation	0.6	11.0	4.0	4.4	4.9	5.3	11.6
Equipment, Maintenance	2.7	17.5	4.0	4.4	4.9	5.3	38.8
Electricity, Telephone Gas, Travel allowance, others	3.3	29.3	17.0	19.2	23.2	26.4	118.4
Total Annual Budget	16.6	103.7	88.0	97.0	107	118	530.3

⇐ WORK PLAN  
 = ACCOMPLISHMENT

Items	Year	1992												1993												1994		
	Month	4~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
I. Japanese side																												
1. Long term experts																												
1) Chief advisor																												
2) Coordinator																												
3) Production Management and Quality Management																												
a) Other Manufacturing Industry																												
b) Food Processing Industry																												
c) Textile and Apparel Industry																												
4) Data Processing																												
a) Database																												
b) Systems analysis and design																												
c) Operating System																												
2. Short term experts																												
3. Provision of machinery and equipment																												
4. Training of Costa Rican counterparts in Japan																												
5. Dispatch of Survey Team																												
II. Costa Rican side																												
1. Establishment of the Center																												
2. Arrangement of the facilities																												
3. Provision of counterparts and other Center staffs																												
4. Submission of the documents																												
1) A-1 Forms for experts																												
2) A-2, 3 Forms for counterpart training in Japan																												
3) A-4 Form for equipment																												

Note: This schedule has been formulated on condition that the necessary budget will be allocated to the Project by the governments of Japan and Costa Rica, and that the schedule is subject to change within the framework of the Record of Discussions (dated April 13, 1992) if necessity arises in the course of the implementation of the Project.



— Work Plan  
 — Accomplishment

1. Master Plan / Activities / Completion

Activities	1st Year			2nd Year			3rd Year			4th Year			5th Year								
	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1992	1993	1994						
1. Survey of DP Current Status	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
2. Technical Transfer of Installation	[Work Plan]																				
3. Technical Transfer of Software Operation	[Work Plan]																				
4. Preparation for Inauguration (∇)	[Work Plan]																				
5. Preparation (⇌) for Pilot Course (∇)	[Work Plan]																				
6. Survey for Central American Countries	[Work Plan]																				
7. Junior Programmer Training Course	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
Syllabus Development	[Work Plan]																				
Technical Transfer	[Work Plan]																				
Course Training	[Work Plan]																				
Course	[Work Plan]																				
Follow-up (Technical Transfer)	[Work Plan]																				
8. Senior Programmer Training Course	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
Syllabus Development	[Work Plan]																				
Technical Transfer	[Work Plan]																				
Course Training	[Work Plan]																				
Course	[Work Plan]																				
Follow-up (Technical Transfer)	[Work Plan]																				
9. System Analyst Training Course	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
Syllabus Development	[Work Plan]																				
Technical Transfer	[Work Plan]																				
Course Training	[Work Plan]																				
Course	[Work Plan]																				
Follow-up (Technical Transfer)	[Work Plan]																				
10. Short-term Application Software Course	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
Syllabus Development	[Work Plan]																				
Technical Transfer	[Work Plan]																				
Course Training	[Work Plan]																				
Course	[Work Plan]																				
Follow-up (Technical Transfer)	[Work Plan]																				

90

*[Handwritten signature]*



Annex: 5-2 Technical Cooperation Program - Data Processing

Subject	Contents	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
Operation Inauguration Pilot C. Survey	Training of Basic Operation	-----												
	Demonstration Preparation for Inauguration (16 Apr)	=∇												
	Pilot Training Course							∇∇						
	Current DP Status Survey of Central American Countries													
Junior Programmer Training Course	Syllabus Development	-----												
	Module E1: Information Processing and Computer													
	Technical Transfer													
	Course Training													
	E2: Introduction to Network													
	Technical Transfer													
	Course Training													
	E3: Personal Computers													
	Technical Transfer													
	Course Training													
E4: Fundamentals of Programming														
Technical Transfer														
Course Training														
E5: Programming														
Technical Transfer														
Course Training														
	Junior Programmer Training Course													
	Follow-up (Technical Transfer)										∇∇∇∇∇∇∇∇∇∇∇∇∇∇∇∇			
Senior Programmer Training Course	Syllabus Development	-----												
	Module A1: Overview of Operating System													
	Technical Transfer													
	Course Training													
	A2: UNIX System													
	Technical Transfer													
	Course Training													
	A3: Application Programming													
	Technical Transfer													
	Course Training													
A4: Fundamentals of Database														
Technical Transfer														
Course Training														
A5: Fundamentals of Graphics/Multimedia														
Technical Transfer														
Course Training														
A6: Fundamentals of Program Development & Sys D														
Technical Transfer														
Course Training														
	Senior Programmer Training Course													
	Follow-up (Technical Transfer)													

40



Annex-5-3 Technical Cooperation Program - Data Processing

Subject	Contents	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
System Analyst Training Course	<p>Syllabus</p> <p>Module S1: Advanced Skill of Information Processing                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>S2: Network Technology                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>S3: Database technology                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>S4: Management of UNIX System                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>S5: Advanced Programming Technology                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>System Analyst Training Course                      Follow-up (Technical Transfer)</p>												
Short-term Application Software Training Course	<p>Syllabus Development</p> <p>Module T1: Basic of Personal Computer Operation                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>T2: Using Application Software (1)                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>T3: Using Application Software (2)                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>T4: Using Application Software (3)                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>T5: Using Application Software (4)                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>T6: Using Application Software (5)                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>T7: Using Application Software (6)                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>T8: Using Application Software (7)                      Technical Transfer                      Course Training</p> <p>Short-term Application Software Course                      Follow-up (Technical Transfer)</p>												

*gwo*

*ase*





Annex 5-4 Technical Cooperation Program - Productivity Development and Quality Development

SUBJECTS	CONTENTS	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. TQC TRAINING COURSE	DURATION: 1 Week for top management and managers. 2 weeks for supervisors												
2. INTRODUCTORY SEMINAR	Talk by JICA experts and CEFOF staff. Then Q&A SESSION.		—										
3. DEMONSTRATION (Pilot) COURSE	Workshop & lecture by C/Ps with JICA experts' help				—		—		—				
4. TEACHING MATERIALS DEVELOPMENT	To prepare text books, trainers manuals and transparencies.												
4-1 TQC COURSE	30 sessions												
4-2 SPECIALLY PREPARED INDIVIDUAL COURSES	S-1 PRODUCTIVITY DEVELOPMENT (6) S-2 QC TECHNIQUES (10 sessions) S-3 QCC (Small group activity) (8) S-4 5S (Total house keeping) (6) S-5 SUGGESTION SCHEME (4 sessions) S-6 SAFETY CONTROL (4 sessions) Note: Numeral figures in the brackets show number of sessions				8.5						5.5		
5. TECHNICAL TRANSFER (Teaching method)	To be transferred by lecture and practice.												
5-1 TQC COURSE	DURATION: 90 Weeks. 1 session for 3 C/Ps requires 1 week.		—										
5-2 INDIVIDUAL COURSES	DURATION: 78 Weeks. 1 session for 3 C/Ps requires for 2/3 week										19.0		
6. PRACTICE IN FACTORIES	Practice on problem solving. DURATION: 8 weeks								2.0				
7. PRACTICE FOR EQUIPMENT OF QC INSPECTION	Technology transfer will be done by JICA Short Term Experts												
7-1 INDUSTRY IN GENERAL					—								
7-2 TEXTILE INDUSTRY					—								
7-2 FOOD INDUSTRY								—					
NOTE:		1. The contents of the course is subject to modification, when all 3 long term experts in the area start their work at CEFOF. 2. JICA experts in the area will establish a master plan for the project when all 3 long term experts start their work at CEFOF. 3. Unit of numeral figures in the time table (Under the bar charts) show required man power, "one man per one month."											

R

Handwritten signature





Annex 6

Example of prospectus for trainees

- (1) Course outline
- (2) Course objective
- (3) Term
- (4) Curriculum
- (5) Conditions for application
  - 1) Experience
  - 2) Skill
  - 3) Age
- (6) Number of trainees
- (7) Location
- (8) Other items to be noted

*Handwritten mark*

*Handwritten mark*

Annex-7 List of requests for the provision of machinery and equipment

Request No.	Machinery/Equipment Name	Quantity	Priority
1	Equipment for developing curriculum and texts	1	A
2	System for developing educational materials A	1	A
3	System for developing educational materials B	1	A
4	Data back-up equipment/AV materials and educational tools	1	A
5	Memory expansion kit, memory	1	A
6	Training manuals	1	B
7	Items for inspection instruments	1	A

Annex 8

Opening Ceremony of the Technical Instructor and Personnel Training Center for Industrial Development of Central America in the Republic of Costa Rica (draft)

1) Members of the Working Committee

CEFOF:

Ugalde, Center Manager

Soto, Administrative Manager

Castro, Training Manager

Conejo, Staff

Embassy:

Ishii, Second Secretary

Ayukawa, Official

Experts:

Takagi, Chief Advisor

Matsumoto, Coordinator

2) Time and Place

10:00 a.m. on Friday, April 16, 1993 at the CEFOF lecture hall

3) Ceremony Events

4) Observation of the Facility; Buffet Party

5) Guests

Approximately 200 people will attend, including Costa Rican political and financial leaders, people concerned with the Province of Alajuela, representatives of the Japanese Embassy, and journalists

LIST OF PARTICIPANTS OF THE JOINT COMMITTEE MEETING

I. Chairman

Marvin Herrera Araya Minister of Public Education

II. Costa Rican Side

1. Ministry of Public Education

Virginia Rojas Vice Minister

2. CEFOF

Luis Ugalde Marin Executive Director  
Gerardo A. Soto Administrative Director  
Marco A. Castro Academic Director  
Olman Muñoz Cespedes Instructor  
Luis Enrique González "  
Jorge Ulate Davila "

III. Japanese Side

1. Consultation Survey Team

Yasuo Uchinaka Team Leader  
Koji Onuma Member  
Masao Ukegawa "  
Osamu Adachi "  
Shozo Miyoshi "

2. Expert

Ryo Takagi Chief Advisor  
Seigo Matsumoto Coordinator  
Kazuchika Sato Expert  
Nobuyuki Ishii "

3. Observer

Toyomi Ishii Embassy of Japan  
Noriyuki Ayukawa "  
Minoru Suzuki Expert  
Wataru Matsumura "  
Iwao Wada "



JOINT COMMITTEE MEETING PROGRAM

9:00 Opening of the Meeting

Address of opening and welcome by Minister of Public  
Education Mr. Marvin Herrera Araya

9:15 Address of Leader of the Japanese Consultation Survey Team,  
Mr. Yasuo Uchinaka of Japan International Cooperation Agency

9:25 Presentation of the CEFOP's Report by Executive Director, Mr.  
Luis Ugalde, Administrative Director, Mr. Gerardo Soto, Chief  
Advisor of Japanese Experts, Mr. Ryo Takagi, and Academic  
Director, Mr. Marco A. Castro

10:30 Coffee break

10:40 Exchange of views, drawing conclusions and approval of agreement

12:30 Closing of the Meeting

*yo*

*[Signature]*

Annex 10

A LIST OF PARTICIPANTS IN THE MEETING

1. Japanese side

Consultation Team:

Yasuo Uchinaka, Managing Director, Mining & Industrial Development  
Cooperation Department, JICA  
Koji Onuma, Technical Cooperation Division, Economic Cooperation Bureau  
Ministry of Foreign Affairs  
Masao Ukegawa, International Trade and Industry Inspection Institute,  
Ministry of International Trade and Industry  
Osamu Adachi, Japan Productivity Center  
Shozo Miyoshi, Technical Cooperation Division, Mining & Industrial  
Development Cooperation Department, JICA

Japanese Experts:

Ryo Takagi, Chief Advisor  
Seigo Matsumoto, Coordinator  
Kazuchika Sato, Production Management and Quality Management (industry in  
general)  
Iwao Wada, Introductory Productivity Improvement  
Nobuyuki Ishii, Data Processing (database)  
Yuzuru Suzuki, Data Processing (systems analysis and design)  
Wataru Matsumura, Data Processing (operating system)

Embassy of Japan:

Tadayoshi Mochizuki, Ambassador, Charge d'Affaires ad interim  
Toyomi Ishii, Second Secretary  
Noriyuki Ayukawa, Advisor

2. Costa Rican side

Marvin Herrera Araya, Minister, Ministry of Public Education  
Virginia Rojas, Vice Minister, Ministry of Public Education  
Melvin Saenz D., General Director, Ministry of Foreign Affairs  
Walter Fonseca, Ministry of Foreign Affairs  
Ingrid Ma. Mora, Ministry of Foreign Affairs  
Jose R. Brenes Vega, Vice Minister, Ministry of Planning & Economic Policy  
Luis A. Ugalde, Executive Director of CEFOF  
Marco A. Castro, Academic Director  
Gerardo Soto, Administrative Director  
Olmán Muñoz, Counterpart, Production Management & Quality Management  
Luis E. González, , Production Management & Quality Management  
Gilbert Ramirez, , Production Management & Quality Management  
Rafael A. Quesada, , Production Management & Quality Management  
Betty Araya, , Production Management & Quality Management  
Hazel Rojas, , Production Management & Quality Management  
Glen E. Montes, , Production Management & Quality Management  
Ricardo Umaña, , Production Management & Quality Management  
Mauricio Garcia, , Data Processing  
Jorge Ulate, , Data Processing  
Nuria Alfaro, , Data Processing  
Marcelo Meza, , Data Processing

RESUMEN DE DISCUSIONES ENTRE EL GRUPO CONSULTOR  
JAPONES Y LAS AUTORIDADES COMPETENTES DEL  
GOBIERNO DE COSTA RICA SOBRE LA COOPERACION  
TECNICA DEL JAPON PARA EL PROYECTO DEL CENTRO  
DE FORMACION DE FORMADORES Y DE PERSONAL  
TECNICO PARA EL DESARROLLO INDUSTRIAL DE  
CENTRO AMERICA EN LA REPUBLICA DE COSTA RICA

El Grupo Consultor Japonés (de ahora en adelante se le denominará "El Grupo") organizado por la Agencia de Cooperación Internacional de Japón (de ahora en adelante se le denominará "JICA") y encabezado por el señor Yasuo Uchinaka, Director Administrativo del Departamento de Desarrollo de Minería e Industria, JICA, el cual visitó la República de Costa Rica del 10 al 16 de marzo de 1993, con el propósito de revisar las actividades del Proyecto para la Formación de Formadores y de Personal Técnico para el Desarrollo Industrial de Centro América en la República de Costa Rica (de ahora en adelante se le denominará "El Proyecto") y desarrollar el plan anual de trabajo para el período de abril de 1993 a marzo de 1994 para la promoción del Proyecto.

Durante la estadía en la República de Costa Rica, El Grupo intercambió opiniones y sostuvo una serie de discusiones con las autoridades interesadas del Gobierno de Costa Rica, sobre los asuntos concernientes al éxito de la implementación del Proyecto.

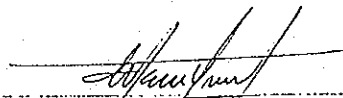
Como resultado de las discusiones, ambas partes acordaron firmar el documento adjunto.

Hecho por duplicado en inglés y español, siendo cada texto igualmente auténtico. En caso de alguna divergencia de interpretación, el texto en inglés prevalecerá.

San José, 16 de marzo de 1993



Sr. Yasuo Uchinaka  
Jefe del  
Grupo Consultor,  
Agencia de Cooperación  
Internacional de Japón



Sr. Marvin Herrera Araya  
Ministro de Educación  
Pública  
República de Costa Rica

## DOCUMENTO ADJUNTO

### I. RESEÑA GENERAL

El Proyecto comenzó el 1 de setiembre de 1992, como un proyecto de cinco años, y esta ahora en la implementación de la etapa de desarrollo de los materiales de enseñanza en los campos de:

- (1) Desarrollo de Productividad y Calidad
- (2) Informática

de acuerdo con el R/D, el Programa Tentativo de Implementación y las Actas de las reuniones, acordadas por ambas parte el 13 de abril de 1992.

En referencia a las actividades del Proyecto en el año fiscal de 1992, JICA ha enviado 6 expertos por un período largo y 1 experto de corto plazo, además ha aceptado a 6 personas de la contraparte para un entrenamiento en Japón.

Además, JICA ha suministrado la maquinaria y el equipo necesario para la implementación de la transferencia tecnológica en las actividades del Proyecto.

El Centro de Formación de Formadores y de Personal Técnico para el Desarrollo Industrial de Centro América (de ahora en adelante se le denominará "El Centro"), ha asegurado la distribución del presupuesto y el número requerido de contrapartes costarricenses para la debida implementación del proyecto.

Estas actividades realizadas por ambas partes han contribuido al progreso del Proyecto.

En consecuencia, basados en el reconocimiento común de la presente situación del Proyecto, ambas partes confirmaron la continua cooperación entre los gobiernos de Costa Rica y Japón para el avance del Proyecto.

*(re)*

*ASL*

II. REVISION DEL PROGRAMA TENTATIVO DE IMPLEMENTACION PARA EL AÑO FISCAL JAPONES DE 1992 (DE SETIEMBRE DE 1992 A MARZO 1993)

II.1 Parte Japonesa:

1. Envío de Expertos

(a) Expertos de largo plazo:

Cuatro expertos fueron enviados en octubre de 1992: un Jefe Consejero, un Coordinador, un Experto en Desarrollo de Productividad y Calidad (industria en general) y otro en Informática (base de datos). También, un experto en informática (análisis de sistemas y diseño) fue enviado a Costa Rica en noviembre, y otro experto en informática (sistema operativo) fue enviado a Costa Rica en diciembre. Dos expertos en Desarrollo de Productividad y Calidad (Textiles e industria del vestido, industria del procesamiento de alimentos) fueron también programados para ser enviados a Costa Rica en marzo de 1993.

Jefe Consejero: Ryo Takagi, 29 de octubre de 1992 a 28 de octubre de 1994.

Coordinador: Seigo Matsumoto, 29 de octubre de 1992 a 28 de octubre de 1994.

Desarrollo de Productividad y Calidad:

Kazuchika Sato (Industria en General), 29 de octubre de 1992 al 28 de octubre de 1994.

Informática (Base de datos):

Nobuyuki Ishii: 29 de octubre de 1992 al 28 de octubre de 1994 (análisis de sistemas y diseño)

Minoru Suzuki: 12 de noviembre de 1992 al 11 de noviembre de 1994 (sistema operacional)

Wataru Matsumura: 3 de diciembre de 1992 al 2 de diciembre de 1994.

Programados: 2 expertos

Desarrollo de Productividad y Calidad:

Yasuto Hayashi (Textiles e industria del vestido) del 25 de marzo de 1993 al 24 de marzo de 1995.

Kousuke Ozaki (Industria de Procesamiento de Alimentos), del 25 de marzo de 1993 al 24 de marzo de 1995.

(b) Un experto fue enviado en enero de 1992 por un período corto:

Implementación del Desarrollo de Productividad y Calidad (mejoramiento en la producción introductiva)

Iwao Wada 29 de enero a 28 de abril de 1993.

*ASB*

*90*

## 2. Aceptación del personal de contraparte como participantes en entrenamiento

Cuatro funcionarios costarricenses de la contraparte (dos en Desarrollo de Productividad y Calidad y dos en Informática) fueron entrenados en Japón, por tres meses y medio desde setiembre de 1992. También dos en administración, por dos semanas desde febrero de 1993.

### Desarrollo de Productividad y Calidad :

Gilbert Ramírez: 8 de setiembre de 1992 al 24 de diciembre de 1992

Rafael Quesada: 8 de setiembre de 1992 al 24 de diciembre de 1992.

### Informática (Base de Datos):

Jorge Ulate: 8 de setiembre de 1992 al 24 de diciembre de 1992

Mauricio García: 8 de setiembre de 1992 al 24 de diciembre de 1992.

### Administración:

Luis Armando Ugalde: 7 de febrero de 1993 al 20 de febrero de 1993

Gerardo Antonio Soto: 7 de febrero de 1993 al 20 de febrero de 1993.

## 3. Suministro de maquinaria y equipo

De acuerdo con el Documento Adjunto II-2 del R/D, el primer embarque de maquinaria y de un vehículo para el uso del Centro, llegó a Costa Rica en febrero de 1993. El segundo embarque, sistemas de biblioteca y otros equipos, será enviado al Centro tan pronto arribe.

## II.2 Parte de Costa Rica

1. Organización y distribución del personal del Centro: La parte de Costa Rica ha distribuido su personal como se muestra en el Anexo 1 y 2.

2. Distribución del presupuesto del Centro

El programa tentativo y la distribución del presupuesto del Centro se muestra en el Anexo 3.

## III. PROGRAMA TENTATIVO DE IMPLEMENTACION PARA EL AÑO FISCAL JAPONES DE 1993 (Del 1 de abril de 1993 al 31 de marzo de 1994)

De acuerdo con el estado presente del Proyecto, ambas partes acordaron modificar el Programa Tentativo de Implementación, el cual fue establecido el 1 de setiembre de 1992, como lo muestra el Anexo 4, y ambas partes realizaron las siguientes actividades:

### III.1 La parte japonesa

#### (1) Envío de 9 expertos de corto plazo:

- 1- Un experto en el desarrollo de materiales educativos para el mejoramiento de la productividad (Administración de la Producción por computadora), de principios de julio de 1993 al 20 de octubre de 1993.
- 2- Un experto en el desarrollo de materiales educativos para el mejoramiento de la productividad (métodos prácticos de la administración de producción).
- 3- Un experto en manejo de instrumentos de inspección (industria en general).
- 4- Un experto en manejo de instrumentos de inspección (textiles).
- 5- Un experto en el manejo de instrumentos de inspección (alimentos).
- 6- Un experto en informática (gráficos avanzados, aplicación de multimedia), del 2 al 30 de abril de 1993.
- 7- Un experto en informática (aplicación de la tecnología avanzada para PCs).
- 8- Un experto en la instalación y ajuste de la maquinaria y equipo.
- 9- Un experto (área por definirse).

#### (2) Aceptación del personal de la contraparte como participante en entrenamiento:

- 1- Un participante en inspección de instrumentos (textiles) de principios de enero de 1994 a finales de marzo de 1994.
- 2- Un participante en inspección de instrumentos (alimentos) de principios de enero de 1994 a finales de marzo de 1994.
- 3- Un participante en inspección de instrumentos (industria en general) de principios de enero de 1994 al final de marzo de 1994.
- 4- Un participante en el desarrollo de la productividad, cerca de 3 semanas.
- 5- Un participante en informática (computadora personal, sistema operativo), de principios de octubre de 1993 a finales de marzo de 1994.

### III.2 La parte de Costa Rica

1. Organización y distribución del personal del Centro:  
El gráfico de organización y la distribución del personal del Centro se muestra en el Anexo 1 y 2.
2. Distribución del presupuesto del Centro:  
El programa tentativo de la distribución del presupuesto del Centro se muestra en el Anexo 3.
3. Apertura de los cursos de entrenamiento:  
Los cursos de entrenamiento para varios niveles de aprovechamiento de la productividad de la tecnología están programados para comenzar en enero de 1994.



4. Presentación de las formas de aplicación:

(a) Fórmula A-1 para el envío de 9 expertos de corto plazo, debe llegar a Japón a finales de abril de 1993.

1- Un experto en la elaboración de material educativo para el desarrollo de la productividad (administración de la producción por computadora).

2- Un experto en la elaboración de material educativo para el mejoramiento de la productividad (métodos prácticos para la administración de la producción).

3- Un experto en el entrenamiento para el manejo de instrumentos de inspección (industria en general).

4- Un experto en el entrenamiento para el manejo de instrumentos de inspección (textiles).

5- Un experto en el entrenamiento para el manejo de instrumentos de inspección (alimentos).

6- Un experto en informática (gráficos avanzados, aplicación de multimedia).

7- Un experto en informática (aplicación de la tecnología avanzada para PCs).

8- Un experto en la instalación y ajuste de la maquinaria y equipo.

9- Un experto (área por definir).

(b) Fórmulas A-2 y A-3 para la aceptación de 5 funcionarios de la contraparte, como participantes en el entrenamiento, debe llegar a Japón a finales del mes de mayo de 1994.

1- Un participante en inspección de instrumentos (textiles).

2- Un participante en inspección de instrumentos (alimentos).

3- Un participante en inspección de instrumentos (industria en general).

4- Un participante en el desarrollo de la productividad.

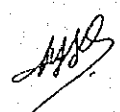
5- Un participante en informática (computadora personal, sistema operativo).

(c) La formula A-4 para el suministro de la maquinaria y el equipo debe llegar a Japón a finales de abril de 1993.

IV. PROGRAMA DE COOPERACION TECNICA

IV.1 Programa de Cooperación Técnica:

El Equipo y la parte costarricense ha formulado conjuntamente EL PROGRAMA DE COOPERACION para el período dado en el Anexo 5, de acuerdo con el estado presente del progreso y de las condiciones del Proyecto.





#### IV.2 Cursos de entrenamiento:

Los cursos están siendo preparados para su apertura, y los expertos japoneses están desarrollando los curriculums y los textos con el personal de la contraparte.

El Grupo mostró a la parte costarricense el ejemplo de los prospectos para los participantes, como se muestra en el Anexo 6.

La parte de Costa Rica expresó que hará un programa para reclutar participantes y una lista de características de aplicantes, además se encargará de los arreglos necesarios para la publicidad.

La parte de Costa Rica también dijo que a finales de mayo de 1993, prepararán los detalles del diseño de los cursos de entrenamiento, los cuales están programados para impartirse en enero de 1994.

El equipo solicitó publicidad efectiva concerniente a las actividades del Centro entre las industrias privadas y otras organizaciones para triunfar en la adquisición de aplicantes de alta calidad, y también solicitó que dichos aplicantes sean seleccionados y que se tomen las medidas para aligerar los obstáculos financieros de dichos participantes.

La parte de Costa Rica promete asegurar el reclutamiento de excelentes participantes con un amplio rango de antecedentes en el sector industrial.

La contraparte costarricense, de acuerdo con los resultados obtenidos durante el proceso de diagnóstico realizado, tanto por los instructores como por los expertos japoneses, concluyó que el período deseado por el sector industrial para enviar a sus empleados a recibir los cursos de capacitación que ofrecerá CEFOF, es de dos semanas cada vez.

#### V. OTROS ASUNTOS DISCUTIDOS

##### V.1 Distribución del personal de la contraparte:

El Grupo solicitó a la parte de Costa Rica, tomar las decisiones más rápidamente ya que la distribución del personal de la contraparte está atrasada en las actas de R/D.

La parte costarricense explicó su plan como se muestra en el Anexo 2 y asegura que la transferencia de tecnología no será interrumpida.

El Grupo también indicó que la habilidad en el inglés de algunos de la contraparte no es suficiente para una transferencia fácil de tecnología, y solicitó a la parte



costarricense hacer esfuerzos para mejorar la habilidad del idioma de dichas personas.

La parte de Costa Rica prometió mejorar las habilidades del inglés del personal de la contraparte en un futuro cercano.

#### V.2 Distribución del presupuesto:

El Grupo indicó que la compra de un carro oficial, el cual está contemplado en el presupuesto del año anterior, no se ha completado y solicita a la parte de Costa Rica que la termine tan pronto le sea posible.

La parte de Costa Rica prometió tomar las medidas necesarias para obtener dicho vehículo.

#### V.3 Envío de expertos:

El Grupo reportó que los expertos que se reclutarán serán enviados, y prepararán un programa de envíos para el próximo año fiscal japonés.

La parte de Costa Rica prometió seguir los procedimientos designados para la fácil recepción de los expertos.

#### V.4 Aceptación del personal de la contraparte:

El Grupo reportó que el programa será planeado para aceptar el personal de contraparte arriba mencionado.

La parte de Costa Rica evaluó positivamente los resultados del entrenamiento en Japón el año pasado, y solicitó que la parte de Japón continúe aceptándolos y que el entrenamiento les sea suministrado con el mismo nivel de aprovechamiento del año pasado.

#### V.5 Suministro de maquinaria y equipo:

La parte de Costa Rica solicitó al Grupo proveer la maquinaria y el equipo relacionado con la transferencia tecnológica abajo especificada.

El Grupo explicó a la parte de Costa Rica, que es difícil para la parte japonesa aceptar los requerimientos de acuerdo con la limitación presupuestaria japonesa. El Grupo solicitó a la parte de Costa Rica que dé una lista prioritaria de la maquinaria y el equipo mostrada en el Anexo 7.

La parte costarricense espera que la parte japonesa considere ampliamente su solicitud.

#### V.6 Ceremonia de Inauguración:

La parte de Costa Rica explicó que la ceremonia de inauguración del Centro, se llevará a cabo el 16 de abril de 1993 como se muestra en el Anexo 8.

También, la parte de Costa Rica solicitó la cooperación japonesa para la publicidad y también solicitó que los representantes japoneses asistan a la ceremonia.

El Grupo respondió que JICA estará representada en la ceremonia, y que la parte japonesa cooperará en las actividades publicitarias.

#### VI. COMITE CONJUNTO

La reunión del Comité Conjunto se llevó a cabo la mañana del 12 de marzo de 1993 para revisar el avance del proyecto, y examinar el Plan Anual para el año 1993. Ambas partes aprobaron los asuntos presentados y discutidos. La asistencia a la reunión del día jueves 11 de marzo y a la Reunión del Programa del Comité Conjunto están descritos en los Anexos 9-1 y 9-2 respectivamente.

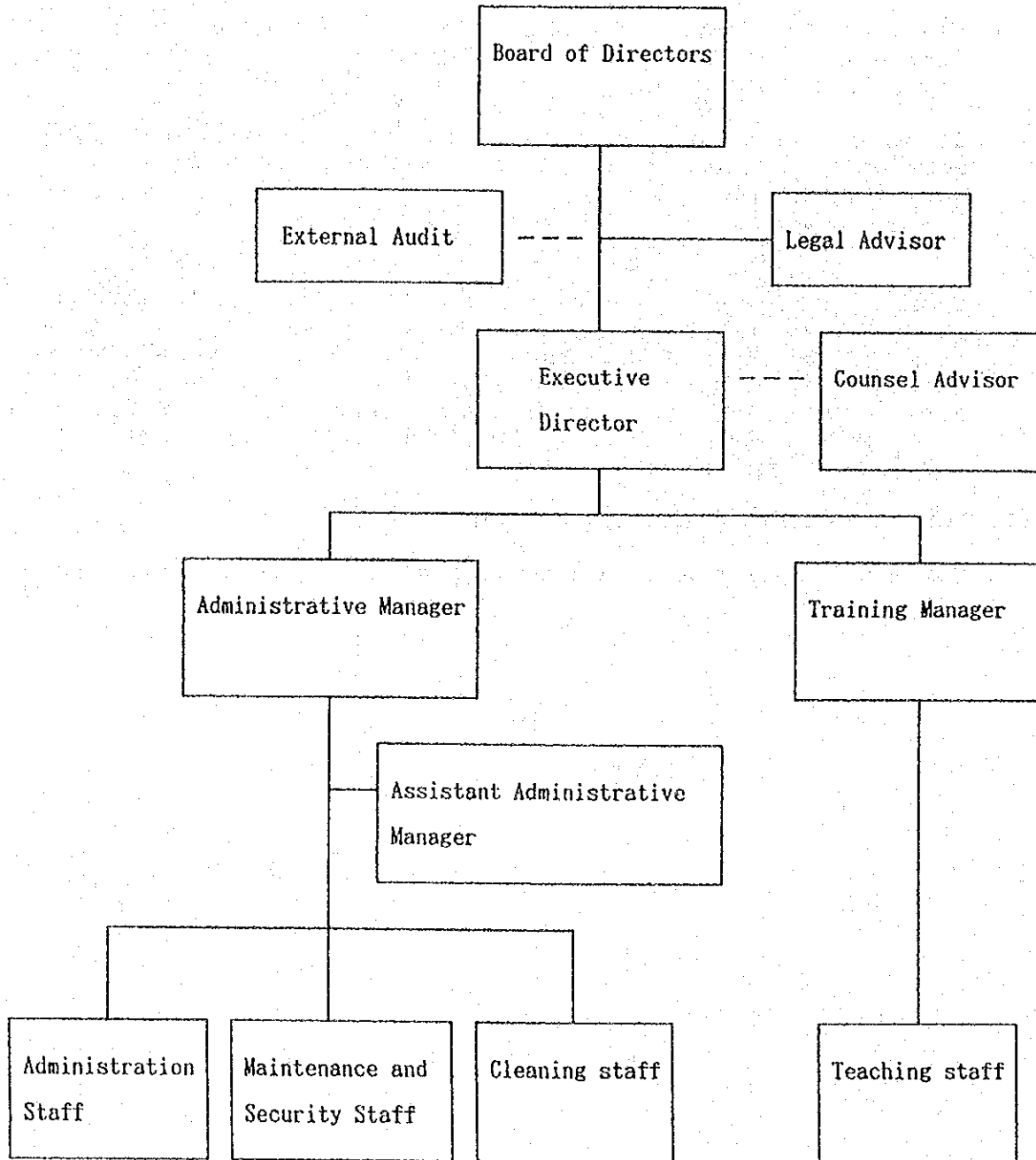
#### VII. LOS ASISTENTES A LAS DISCUSIONES

Los asistentes a las discusiones aparecen en el Anexo 10.

(gr)

*[Handwritten signature]*

Annex-1. ORGANIZATION CHART AND STAFF ALLOCATION OF THE CENTER



*CA*

*[Signature]*

Annex-2. TENTATIVE SCHEDULE OF STAFF ALLOCATION

The Center Staff	Year	1992	1993	1994	1995	1996	1997	Total
Executive Director		1	1	1	1	1	1	1
Administrative Staff		5	10	10	10	10	10	10
Maintenance Staff		0	3	3	3	3	3	3
Cleaning Staff and other Services		6	17	17	17	17	17	17
Teaching Staff		9	33	33	33	33	33	33
Total of all Staff		21	64	64	64	64	64	64

List of the Center staff

The Center staff	Position	Name	Remarks
Director (1)	Executive Director (1)	Luis A. Ugalde	Chief Advisor C/P
Administrative Staff : 7 of 10 hired	Administrative Manager (1) Assistant Administrative Manager (1) Financial Supervisor (1) Procurement Supervisor (1) General Affairs Supervisor (1) Secretary (2)  Personnel Supervisor (0 of 1) Trainees Controller (0 of 1) Accounting Supervisor (0 of 1)	Gerardo Soto Walter Conejo Anabelle Soto Marco A. Madrigal Luis Diego Arroyo Ileana Cartin Elizabeth Murillo not yet decided not yet decided not yet decided	Coordinator C/P
Maintenance Staff: (1 of 3 hired)	Management Engineer (0 of 2) Computer Management Engineer (1)	2 not yet decided Heiner Mayorga	
Cleaning Staff and other Services: (3 of 17 hired)	Miscellaneous Duties (2 of 6)  Reception (1) Security Guard (0 of 6) Gardener (0 of 2) Driver (0 of 2)	Luis E. Hernandez Douglas Bolanoz 4 not yet decided Mauren Umaña 6 not yet decided 2 not yet decided 2 not yet decided	
Teaching Staff : (17 of 33 hired)	Training Manager (1) Production Management Quality Management Training (8 of 9 hired)  Data Processing Training : (5 of 6 hired)  Assistants for practical exercise: (2 of 9 hired)  Secretary: (1 of 2) Clerk: (1 of 2) PR: (0 of 1) Librarian: (0 of 1) Development of educational materials: (0 of 1) Research and Planning: (0 of 1)	Marco A. Castro Olman Muñoz Luis E. González Gilbert Ramirez Rafacl A. Quesada Betty Araya Hazel Rojas Glen E. Montes Ricardo Umaña 1 not yet decided Mauricio Garcia Jorge Ulate Nuria Alfaro Marcelo Meza Arlette Jiménez 1 not yet decided Juan Carlos Alvarez Gerardo González 7 not yet decided  not yet decided not yet decided not yet decided not yet decided	Chief Advisor C/P Production Management & Quality Management C/P // // // // // // Data processing C/P // // // //

*Handwritten initials*

*Handwritten signature*

## Annex-3 TENTATIVE SCHEDULE OF BUDGET ALLOCATION

( Unit:Million Colons )

	Year						Total
	1992	1993	1994	1995	1996	1997	
The Center Staff							
Staff Charges	10.0	45.9	63.0	69.0	74.0	81.0	342.9
Building Reformation	0.6	11.0	4.0	4.4	4.9	5.3	11.6
Equipment, Maintenance	2.7	17.5	4.0	4.4	4.9	5.3	38.8
Electricity, Telephone Gas, Travel allowance, others	3.3	29.3	17.0	19.2	23.2	26.4	118.4
Total Annual Budget	16.6	103.7	88.0	97.0	107	118	530.3

— WORK PLAN  
 - ACCOMPLISHMENT

Items	Year	1992												1993												1994		
	Month	4~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
<b>I. Japanese side</b>																												
1. Long term experts																												
1) Chief advisor																												
2) Coordinator																												
3) Production Management and Quality Management																												
a) Other Manufacturing Industry																												
b) Food Processing Industry																												
c) Textile and Apparel Industry																												
4) Data Processing																												
a) Database																												
b) Systems analysis and design																												
c) Operating System																												
2. Short term experts																												
3. Provision of machinery and equipment																												
4. Training of Costa Rican counterparts in Japan																												
5. Dispatch of Survey Team																												
<b>II. Costa Rican side</b>																												
1. Establishment of the Center																												
2. Arrangement of the facilities																												
3. Provision of counterparts and other Center staffs																												
4. Submission of the documents																												
1) A-1 Forms for experts																												
2) A-2, 3 Forms for counterpart training in Japan																												
3) A-4 Form for equipment																												

Note: This schedule has been formulated on condition that the necessary budget will be allocated to the Project by the governments of Japan and Costa Rica, and that the schedule is subject to change within the framework of the Record of Discussions (dated April 13, 1992) if necessity arises in the course of the implementation of the Project.

Master Plan / Activities / Completion

Activities	1st Year		2nd Year		3rd Year		4th Year		5th Year				
	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001			
1. Survey of DP Current Status	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
2. Technical Transfer of Installation		-----											
3. Technical Transfer of Software Operation		-----											
4. Preparation for Inauguration (▽)		-----▽											
5. Preparation (⇒) for Pilot Course (▽)		-----▽											
6. Survey for Central American Countries	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
7. Junior Programmer Training Course		-----											
Syllabus Development		-----											
Technical Transfer		-----											
Course Training		○○○○○○○○											
Course Follow-up (Technical Transfer)		-----											
8. Senior Programmer Training Course	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
Syllabus Development		-----											
Technical Transfer		-----											
Course Training		○○○○○○○○											
Course Follow-up (Technical Transfer)		-----											
9. System Analyst Training Course	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
Syllabus Development		-----											
Technical Transfer		-----											
Course Training		○○○○○○○○											
Course Follow-up (Technical Transfer)		-----											
10. Short-term Application Software Course	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	8
Syllabus Development		-----											
Technical Transfer		-----											
Course Training		○○○○○○○○											
Course Follow-up (Technical Transfer)		-----											



		C O N T E N T S												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
Operation Inauguration Pilot Training Course Survey	Training of Basic Operation Demonstration Preparation for Inauguration (16 Apr) Pilot Training Course Current DP Status Survey of Central American Countries	▽						▽						
Junior Programmer Training Course	Syllabus Development Module E1: Information Processing and Computer Technical Training E2: Introduction to Network Technical Training Course Training E3: Personal Computers Technical Training Course Training E4: Fundamentals of Programming Technical Training Course Training E5: Programming Technical Training Course Training													
	Junior Programmer Training Course Follow-up (Technical Transfer)													
Senior Programmer Training Course	Syllabus Development Module A1: Overview of Operating System Technical Training Course Training A2: UNIX System Technical Training Course Training A3: Application Programming Technical Training Course Training A4: Fundamentals of Database Technical Training Course Training A5: Fundamentals of Graphics/Multimedia Technical Training Course Training A6: Fundamentals of Program Development & Sys D Technical Training Course Training													
	Senior Programmer Training Course Follow-up (Technical Transfer)													

*[Handwritten signature]*

Subject	C o n t e n t s												3
System Analyst Training Course	Syllabus Module S1: Advanced Skill of Information Processing Technical Transfer Course Training S2: Network Technology Technical Transfer Course Training S3: Database Technology Technical Transfer Course Training S4: Management of UNIX System Technical Transfer Course Training S5: Advanced Programming Technology Technical Transfer Course Training												
Short-term Application Software Training Course	System Analyst Training Course Follow-up (Technical Transfer) Syllabus Development Module T1: Basic of Personal Computer Operation Technical Transfer Course Training T2: Using Application Software (1) Technical Transfer Course Training T3: Using Application Software (2) Technical Transfer Course Training T4: Using Application Software (3) Technical Transfer Course Training T5: Using Application Software (4) Technical Transfer Course Training T6: Using Application Software (5) Technical Transfer Course Training T7: Using Application Software (6) Technical Transfer Course Training T8: Using Application Software (7) Technical Transfer Course Training Short-term Application Software Course Follow-up (Technical Transfer)												

Annex 5-4 Technical Cooperation Program - Productivity Development and Quality Development

SUBJECTS	CONTENTS	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. TQC TRAINING COURSE	DURATION: 1 Week for top management and managers. 2 weeks for supervisors												
2. INTRODUCTORY SEMINAR	Talk by JICA experts and CEFOF staff. Then Q&A SESSION.												
3. DEMONSTRATION (Pilot) COURSE	Workshop & lecture by C/Ps with JICA experts' help												
4. TEACHING MATERIALS DEVELOPMENT	To prepare text books, trainers manuals and transparencies.												
4-1 TQC COURSE	30 sessions				8.5								
4-2 SPECIALLY PREPARED INDIVIDUAL COURSES	S-1 PRODUCTIVITY DEVELOPMENT (6) S-2 QC TECHNIQUES (10 sessions) S-3 QCC (Small group activity) (8) S-4 5S (Total house keeping) (6) S-5 SUGGESTION SCHEME (4 sessions) S-6 SAFETY CONTROL (4 sessions) Note: Numerical figures in the brackets show number of sessions										5.5		
5. TECHNICAL TRANSFER (Teaching method)	To be transferred by lecture and practice.												
5-1 TQC COURSE	DURATION: 90 Weeks. 1 session for 3 C/Ps requires 1 week.					22.0							
5-2 INDIVIDUAL COURSES	DURATION: 78 Weeks. 1 session for 3 C/Ps requires for 2/3 week												
6. PRACTICE IN FACTORIES	Practice on problem solving. DURATION: 8 weeks												
7. PRACTICE FOR EQUIPMENT OF QC INSPECTION	Technology transfer will be done by JICA Short Term Experts.												
7-1 INDUSTRY IN GENERAL													
7-2 TEXTILE INDUSTRY													
7-2 FOOD INDUSTRY													
NOTE:													
1. The contents of the course is subject to modification, when all 3 long term experts in the area start their work at CEFOF.													
2. JICA experts in the area will establish a master plan for the project when all 3 long term experts start their work at CEFOF.													
3. Unit of numerical figures in the time table (Under the bar charts) show required man power. *one man per one month.													

*[Handwritten signature]*

Annex 6

Example of prospectus for trainees

- (1) Course outline
- (2) Course objective
- (3) Term
- (4) Curriculum
- (5) Conditions for application
  - 1) Experience
  - 2) Skill
  - 3) Age
- (6) Number of trainees
- (7) Location
- (8) Other items to be noted



Annex-7 List of requests for the provision of machinery and equipment

Request No.	Machinery/Equipment Name	Quantity	Priority
1	Equipment for developing curriculum and texts	1	A
2	System for developing educational materials A	1	A
3	System for developing educational materials B	1	A
4	Data back-up equipment/AV materials and educational tools	1	A
5	Memory expansion kit, memory	1	A
6	Training manuals	1	B
7	Items for inspection instruments	1	A

*yu*

*[Handwritten signature]*

Annex 8

Opening Ceremony of the Technical Instructor and Personnel Training Center for Industrial Development of Central America in the Republic of Costa Rica (draft)

1) Members of the Working Committee

CEFOF:

Ugalde, Center Manager

Soto, Administrative Manager

Castro, Training Manager

Conejo, Staff

Embassy:

Ishii, Second Secretary

Ayukawa, Official

Experts:

Takagi, Chief Advisor

Matsumoto, Coordinator

2) Time and Place

10:00 a.m. on Friday, April 16, 1993 at the CEFOF lecture hall

3) Ceremony Events

4) Observation of the Facility; Buffet Party

5) Guests

Approximately 200 people will attend, including Costa Rican political and financial leaders, people concerned with the Province of Alajuela, representatives of the Japanese Embassy, and journalists

(y)

LIST OF PARTICIPANTS OF THE JOINT COMMITTEE MEETING

I. Chairman

Marvin Herrera Araya Minister of Public Education

II. Costa Rican Side

1. Ministry of Public Education

Virginia Rojas Vice Minister

2. CEFOF

Luis Ugalde Marin Executive Director  
Gerardo A. Soto Administrative Director  
Marco A. Castro Academic Director  
Olman Muñoz Cespedes Instructor  
Luis Enrique González "  
Jorge Ulate Davila "

III. Japanese Side

1. Consultation Survey Team

Yasuo Uchinaka Team Leader  
Koji Onuma Member  
Masao Ukegawa "  
Osamu Adachi "  
Shozo Miyoshi "

2. Expert

Ryo Takagi Chief Advisor  
Seigo Matsumoto Coordinator  
Kazuchika Sato Expert  
Nobuyuki Ishii "

3. Observer

Toyomi Ishii Embassy of Japan  
Noriyuki Ayukawa "  
Minoru Suzuki Expert  
Wataru Matsumura "  
Iwao Wada "

(9)

JOINT COMMITTEE MEETING PROGRAM

- 9:00 Opening of the Meeting
- Address of opening and welcome by Minister of Public  
Education Mr. Marvin Herrera Araya
- 9:15 Address of Leader of the Japanese Consultation Survey Team,  
Mr. Yasuo Uchinaka of Japan International Cooperation Agency
- 9:25 Presentation of the CEFOP's Report by Executive Director, Mr.  
Luis Ugalde, Administrative Director, Mr. Gerardo Soto, Chief  
Advisor of Japanese Experts, Mr. Ryo Takagi, and Academic  
Director, Mr. Marco A. Castro
- 10:30 Coffee break
- 10:40 Exchange of views, drawing conclusions and approval of agreement
- 12:30 Closing of the Meeting



Annex 10

A LIST OF PARTICIPANTS IN THE MEETING

1. Japanese side

Consultation Team:

Yasuo Uchinaka, Managing Director, Mining & Industrial Development  
Cooperation Department, JICA  
Koji Onuma, Technical Cooperation Division, Economic Cooperation Bureau  
Ministry of Foreign Affairs  
Masao Ukegawa, International Trade and Industry Inspection Institute,  
Ministry of International Trade and Industry  
Osamu Adachi, Japan Productivity Center  
Shozo Miyoshi, Technical Cooperation Division, Mining & Industrial  
Development Cooperation Department, JICA

Japanese Experts:

Ryo Takagi, Chief Advisor  
Seigo Matsumoto, Coordinator  
Kazuchika Sato, Production Management and Quality Management (industry in  
general)  
Iwao Wada, Introductory Productivity Improvement  
Nobuyuki Ishii, Data Processing (database)  
Yuzuru Suzuki, Data Processing (systems analysis and design)  
Wataru Matsumura, Data Processing (operating system)

Embassy of Japan:

Tadayoshi Mochizuki Ambassador, Charge d'Affaires ad interim  
Toyomi Ishii Second Secretary  
Noriyuki Ayukawa Advisor

2. Costa Rican side

Marvin Herrera Araya Minister, Ministry of Public Education  
Virginia Rojas Vice Minister, Ministry of Public Education  
Melvin Saenz D. General Director, Ministry of Foreign Affairs  
Walter Fonseca Ministry of Foreign Affairs  
Ingrid Ma.Mora Ministry of Foreign Affairs  
Jose R. Brenes Vega Vice Minister, Ministry of Planning & Economic Policy  
Luis A. Ugalde, Executive Director of CEFOF  
Marco A. Castro, Academic Director  
Gerardo Soto, Administrative Director  
Olman Muñoz, Counterpart, Production Management & Quality Management  
Luis E. González, , Production Management & Quality Management  
Gilbert Ramirez, , Production Management & Quality Management  
Rafael A. Quesada , Production Management & Quality Management  
Betty Araya, , Production Management & Quality Management  
Hazel Rojas, , Production Management & Quality Management  
Glen E. Montes, , Production Management & Quality Management  
Ricardo Umaña, , Production Management & Quality Management  
Mauricio Garcia, , Data Processing  
Jorge Ulate, , Data Processing  
Nuria Alfaro, , Data Processing  
Marcelo Meza, , Data Processing

*(Handwritten initials)*

*(Handwritten signature)*





JICA